

決算審査 特別委員会

委員長	増田 清
副委員長	竹内清二
委員 小泉孝敬	伊藤英雄
鈴木 敬	岸山久志
沢登英信	大黒孝行

下田市財政の健全化を図つての審査並びに指摘事項についてより詳しく述べます。

平成24年の決算審査についての審査並びに指摘事項についてより詳しく述べます。

平成24年度の決算審査特別委員会を9月18日～25日実施しました。初日の関係議案に関する現地視察に始まり、各課ごとの審査を慎重に行いました。

平成24年度の決算を総括すると、決算数値は良い方向に向かっており、市の財政は徐々に改善しつつあるものの、高齢化に伴う福祉サービス充當費の増加や、災害対策費・老朽化したインフラの長寿命化に伴う費用等、懸念される課題に対する政策に充てる多くの支出増加が今後も予測され、まだまだ予断は許されない状況です。特に歳入ではここ十数年来、一貫して減少し続けている市民税、その要因は人口減少・少子高齢化に起因するものばかりでなく、市民経済の落ち込み、所得減少

に起因するものと思われます。

下田市財政の健全化を図つての審査並びに指摘事項についてより詳しく述べます。

平成24年の決算審査についての審査並びに指摘事項についてより詳しく述べます。

平成24年度の決算規模は歳出総額は93億3797万6835円（前年度比2・5%増）となつた。形式収支（歳入歳出差引額）は4億5925円（前年度比2・3%増）、

◎不納欠損額は8731万1676円で、前年度比4484万4729円（33・9%減）の減。内訳は市税8680万4676円及び保育料50万7000円。

◎歳出決算額は前年度比で2億2881万7349円（2・5%）増加。増加の主なものは総務費1億8047万1357円、農林水産業費1402万5358円、民生費1億4100円の赤字となつた。

◎歳入決算額は前年度比2億2430万249円（2・3%）増加した。増加した主なものは、寄附金1397万5499円、繰入金2億754万4869円、繰越金7310万円の増等。一方減少した主なものは商工費4149万4707円、消費税5486万8142円、災害復旧費2070万9066円、公債費1687万186円、市債92万円の減等。

◎歳出を性質別に区分すると、義務的経費は44億66999万円は9億9748万3769円。

た主なものは、市税1億1638万7967円、県支出金6186万3711円の減等。市税減少が懸念される。

◎平成24年度末の一般会計における市債残高は前年度比4・4%減の74億6940万927円。特別会計、水道事業会計を合わせた市債残高は178億3115万4935円で、前年度比6億5646万892円の減。

◎財政指標は概ね改善されつつある。実質公債費比率は12・1%（前年度比0・7%改善）、将来負担比率も70・1%（前年度比6・8%改善）となつた。しかし財政の弾力性を判断する経常収支比率は88・9%で前年度より1・6%悪化。

◎基金は、財政調整基金が7億23万6312円で3815万2000円（5・8%）増加。また庁舎建設基金は年度末で5億1742万9128円で5000万円（10・7%）増加。

◎市税の減少で主なものは、対前年度収入済額との比較で市民税△1501万5236円、固定資産税△9646万円、国民健康保険税の調定額は13億3972万5083円に対し、収入済額は7億6513万2022円で収納率57・1%、収入未済額（滞納額）4億9952万5947円。また市税と国民健康保険税を合わせた収入未済額（滞納額）は9億9748万3769円。

投資的経費4億5091万8000円（構成比4・8%）、8000円（構成比4・8%）である。

◎市税における不納欠損額は35億4623万2824円に對する収納率は83・5%にとどまり、収入未済額（滞納額）が4億9795万7822円となつていて。課税の適正化を図ると共に、特段の収納率向上対策が求められる。

◎収納率向上のため、静岡地方税滞納整理機構に本年度は15件の滞納処理を移管し、1884万5897円の徴収額となつた。その負担金は314万5300円で収納実績の面でも効果が表れている。

◎国民健康保険税の調定額は13億3972万5083円に対し、収入済額は7億6513万2022円で収納率57・1%、収入未済額（滞納額）4億9952万5947円。

下落、新築家屋の減少などが考えられ、今後も市税の減少が懸念されるところである。

なお入湯税収入済額は7590万5935円で前年度比1285万9412円増。

◎市税における不納欠損額は8680万4676円で、前年度に比べ、4355万960円の減である。しかし調定額35億4623万2824円に對する収納率は83・5%にとどまり、収入未済額（滞納額）が4億9795万7822円となつていて。課税の適正化を図ると共に、特段の収納率向上対策が求められる。

◎収納率向上のため、静岡地方税滞納整理機構に本年度は15件の滞納処理を移管し、1884万5897円の徴収額となつた。その負担金は314万5300円で収納実績の面でも効果が表れている。

◎国民健康保険税の調定額は13億3972万5083円に対し、収入済額は7億6513万2022円で収納率57・1%、収入未済額（滞納額）4億9952万5947円。

また市税と国民健康保険税を合わせた収入未済額（滞納額）は9億9748万3769円。